研究概要（平成22年度）　　（持続可能な社会・政策研究）

〈研究課題名〉	E－0809 (Hc-089)	中国における気候変動対策シナリオ分析と国際比較による政策立案研究

〈研究概要〉

省別・エネルギー需給詳細部門別・エネルギー種類別のエネルギー需給データを基礎に、人口、経済社会、各種技術、社会資本形成、世界経済との関係、都市と農村の住居等、諸影響要因をつぶさに解析して、2030年の将来温室効果ガス排出量と各種対策効果を定量評価し、対策を実現する施策のあり方について検討し、中国における低炭素社会への可能性を客観分析する。その際、現行の関連政策状況を調べ、また国際比較を行い、その上で有効な政策について考察する。

(1) 中国エネルギー需給現況分析と温室効果ガス将来排出量シナリオ分析に関する研究

省別・エネルギー需給詳細部門別・エネルギー種類別のエネルギー需給データを経年的に分析し、その動向を多面的な影響諸要因との関係から分析。対策技術を含め影響要因の動向を想定,2030年の将来温室効果ガス排出量を社会状況想定下で諸対策の排出削減効果とともに、シナリオ推計分析する。

(2)エアロゾル排出係数に関する研究

中国の農村部住宅における厨房暖房兼用かまど並びにモデル燃焼装置で燃焼実験を行い、ブラックカーボン等の排出量推計に用いる排出係数を確定する。

(3) 建築分野施策と住宅省エネルギーに関する研究

住宅と業務建築のエネルギー消費量と温室効果ガス排出量を推計、その影響要因を分析する。とくに農村部の住宅における厨房、暖房用バイオマス燃料の使用について現状と温室効果ガス、エアロゾル等排出削減対策を検討し、居住環境性能と省エネルギーなどを含め地域の気候風土、生活に適合した住宅のあり方を総合研究する。

(4) 中国の気候変動対策と関連政策に関する研究

関係する現行政策、法制の最新状況について調査した上でどのような政策が可能か、例えばセクター別アプローチについて本研究から得られた定量的データ分析結果に基づいて検討する。

(5) 国際比較による対策総合評価に関する研究

環境クズネッツ曲線を応用し国際比較と中国の地域間比較を同時に行うことで経済社会状況と対策、政策のあり方を客観解析する。それをもとに上記　サブテーマ研究の成果とくに気候変動対策と関連諸対策の同時効果を含め対策効果と政策手法を客観的に総合評価し総括する。

〈研究代表者〉	外岡　豊	埼玉大学経済学部社会環境設計学科　教授（59才）

No.	サブテーマ名		氏　名	所属機関名・部局・役職名
(1)	中国エネルギー需給現況分析と温室効果ガス将来排出量シナリオ分析に関する研究	◎	外岡　豊	埼玉大学経済学部社会環境設計学科　教授
			寧　亜東	埼玉大学経済学部招聘研究員、大連理工大学准教授
			李　潔	埼玉大学経済学部　教授
(2)	エアロゾル排出係数に関する研究	○	坂本　和彦	埼玉大学理工学研究科　教授
			王　青躍	埼玉大学理工学研究科　准教授
(3)	建築分野施策と住宅省エネルギーに関する研究	○	高　偉俊	北九州市立大学国際環境学部　教授
			李　海峰	佐賀大学理工学部都市工学科　准教授
(4)	中国の気候変動対策と関連政策に関する研究	○	明日香　寿川	東北大学東北アジア研究センター　教授
(5)	国際比較による対策総合評価に関する研究	◎	外岡　豊	埼玉大学経済学部社会環境設計学科　教授
			黄　錚	埼玉大学経済学部　研究員